

2022年度
決算補足資料

2023年5月12日

DOWAホールディングス株式会社

経営成績

■ 連結損益計算書

単位：億円（億円未満切捨て）

	2021年度			2022年度			増減		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	4,232	4,085	8,317	4,018	3,782	7,800	△ 214	△ 302	△ 517
営業利益	379	258	638	300	145	446	△ 79	△ 112	△ 192
経常利益	474	286	760	369	185	555	△ 105	△ 100	△ 205
親会社株主に帰属する 当期純利益	325	184	510	227	23	250	△ 98	△ 161	△ 259

■ 為替・金属価格

	2021年度			2022年度		
	上期平均	下期平均	通期平均	上期平均	下期平均	通期平均
為替：(¥/\$)	109.8	115.0	112.4	134.0	137.0	135.5
銅：(\$/t)	9,541	9,842	9,691	8,634	8,468	8,551
亜鉛：(\$/t)	2,954	3,554	3,254	3,597	3,067	3,332
インジウム：(\$/kg)	204	254	229	235	206	221

事業環境（2022年度）

廃棄物・リサイクル関連

- ・廃棄物処理の受注は堅調
- ・リサイクル原料の集荷は増加、家電リサイクルの処理量は減少

自動車関連

- ・自動車の生産が低調であったことから、一部の自動車関連製品・サービスの需要は調整局面が継続

新エネルギー関連

- ・太陽光パネルの汎用化が進んだことによる競争環境の変化により、銀粉の販売は低調に推移

電子部品関連

- ・中国経済の停滞により、情報通信関連製品の販売が減少

為替相場・金属価格

- ・平均為替レートは前年比で大幅な円安ドル高
- ・銅、銀及びPGM（白金族金属）の平均価格は下落

エネルギー・資材価格

- ・世界的なエネルギー価格の高騰や資材価格の上昇を受け、電力代、燃料費及び副資材費等のコストが大幅に増加

主要製品の動向

※2021年度1Qを100として指数化

		2021年度				2022年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
環境・ リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	101	105	94	105	92	101	94
	リサイクル原料集荷量 (小坂製錬向け)	100	83	86	88	91	97	101	93
	東南アジア廃棄物処理額	100	106	110	125	100	104	117	121
製錬	銅生産量 (小坂製錬・小名浜製錬合計)	100	102	94	112	123	109	109	134
	亜鉛生産量	100	74	102	99	100	71	106	101
電子材料	LED販売量	100	166	156	133	223	171	152	100
	銀粉販売量	100	128	99	101	93	64	64	57
金属加工	伸銅品販売量	100	100	103	96	98	93	96	89
熱処理	熱処理加工売上高	100	102	103	109	103	107	116	113
	工業炉売上高	100	144	178	338	119	167	196	295

セグメント別損益 前年比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2021年度			2022年度			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・リサイクル	1,350	126	136	1,480	111	119	129	△ 15	△ 16	・燃料費や副資材費の増加 ・労務費や減価償却費の増加
製錬	4,556	361	427	4,336	227	331	△ 219	△ 133	△ 96	・PGM回収量の減少 ・金属価格の下落による減益 ・円安による増益 ・電力代や棚卸簿価切下額の増加
電子材料	1,753	52	65	1,382	29	45	△ 371	△ 22	△ 20	・近赤外LED・PDの増販 ・銀粉や磁性粉の減販 ・円安による増益
金属加工	1,119	63	68	1,161	53	55	42	△ 10	△ 13	・自動車関連製品・サービスや 情報通信関連製品の減販 ・電力代や燃料費の増加
熱処理	289	26	30	301	14	18	11	△ 11	△ 11	・電力代や燃料費の増加
その他、 全社・消去	△ 751	7	32	△ 861	9	△ 15	△ 110	2	△ 48	・持分法適用関連会社である 藤田観光(株)の利益減
合計	8,317	638	760	7,800	446	555	△ 517	△ 192	△ 205	

経常利益の要因別分析

単位：億円（億円未満切捨て）

2022年度累計－2021年度累計	環境・ リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	11	△ 30	△ 42	△ 9	△ 1	0	△ 72
うち実収差量（数量差）	－	△ 17	－	－	－	－	△ 17
実収差量（金属価格単価差）	－	△ 45	－	－	－	－	△ 45
外貨建収入為替差	－	83	26	－	－	－	110
原料条件（条件差）	－	△ 6	－	－	－	－	△ 6
払出時価簿価差・期末時価評価差	－	△ 27	－	3	－	－	△ 23
電力代	－	△ 73	－	－	－	－	△ 73
製造原価（減価償却費他）・販管費・開発研究費	△ 27	△ 35	△ 6	△ 4	△ 10	2	△ 81
営業利益増減	△ 15	△ 133	△ 22	△ 10	△ 11	2	△ 192
営業外収支の影響							
・持分法損益	△ 1	15	△ 0	△ 0	－	△ 49	△ 36
・その他	△ 0	21	3	△ 1	0	△ 0	22
経常利益増減	△ 16	△ 96	△ 20	△ 13	△ 11	△ 48	△ 205

セグメント別損益 前回予想比

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年度 予想（11/11公表）			2022年度 実績			増減			経常利益の増減理由
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・リサイクル	1,445	96	104	1,480	111	119	35	15	15	<ul style="list-style-type: none"> ・PCB廃棄物及び家電スクラップの売却益の増加 ・土壌処理サービスの受注増 ・東南アジアでの受注増
製錬	4,520	251	337	4,336	227	331	△ 183	△ 23	△ 5	<ul style="list-style-type: none"> ・PGM回収量の減少 ・棚卸簿価切下額の増加 ・持分法利益の増加
電子材料	1,185	39	57	1,382	29	45	197	△ 9	△ 11	・近赤外LED・PDの減販
金属加工	1,160	54	59	1,161	53	55	1	△ 0	△ 3	-
熱処理	310	20	23	301	14	18	△ 8	△ 5	△ 4	・自動車関連製品・サービスの需要減
その他、 全社・消去	△ 770	10	△ 10	△ 861	9	△ 15	△ 91	△ 0	△ 5	・持分法損失の増加
合計	7,850	470	570	7,800	446	555	△ 49	△ 23	△ 14	

連結貸借対照表

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年 3月末	2023年 3月末	増減		2022年 3月末	2023年 3月末	増減
流動資産	3,830	3,790	△ 40	流動負債	2,282	2,091	△ 191
				固定負債	1,004	855	△ 149
固定資産	2,742	2,762	20	自己資本	3,134	3,448	314
				非支配株主持分	151	157	5
総資産	6,572	6,552	△ 20	負債・純資産計	6,572	6,552	△ 20
				有利子負債	1,316	1,247	△ 68
				自己資本比率 (%)	47.7	52.6	4.9
				ROA (%)	12.1	8.5	△ 3.6
				ROE (%)	17.6	7.6	△ 10.0

- ✓ 製錬部門を中心とした設備投資に伴う固定資産の増加はあったものの、棚卸資産や売上債権の減少により、当期末の総資産額は前期末比△20億円の6,552億円となった。
- ✓ 当期末の自己資本比率は前期末比+4.9ポイントの52.6%となった。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円（億円未満切捨て）

	2021年度	2022年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	599	507	△ 91
税金等調整前当期純利益	770	459	△ 311
減価償却費	225	239	13
法人税等	△ 150	△ 313	△ 163
棚卸資産	△ 229	100	330
その他	△ 17	21	39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 113	△ 303	△ 190
設備投資	△ 317	△ 330	△ 12
その他投資	204	27	△ 177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 311	△ 197	114
キャッシュフロー計	173	6	△ 167

2023年度 通期業績予想

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年度 実績	2023年度 予想	増減	
売上高	7,800	6,800	△ 1,000	△13%
営業利益	446	230	△ 216	△48%
経常利益	555	300	△ 255	△46%
親会社株主に帰属する 当期純利益	250	200	△ 50	△20%

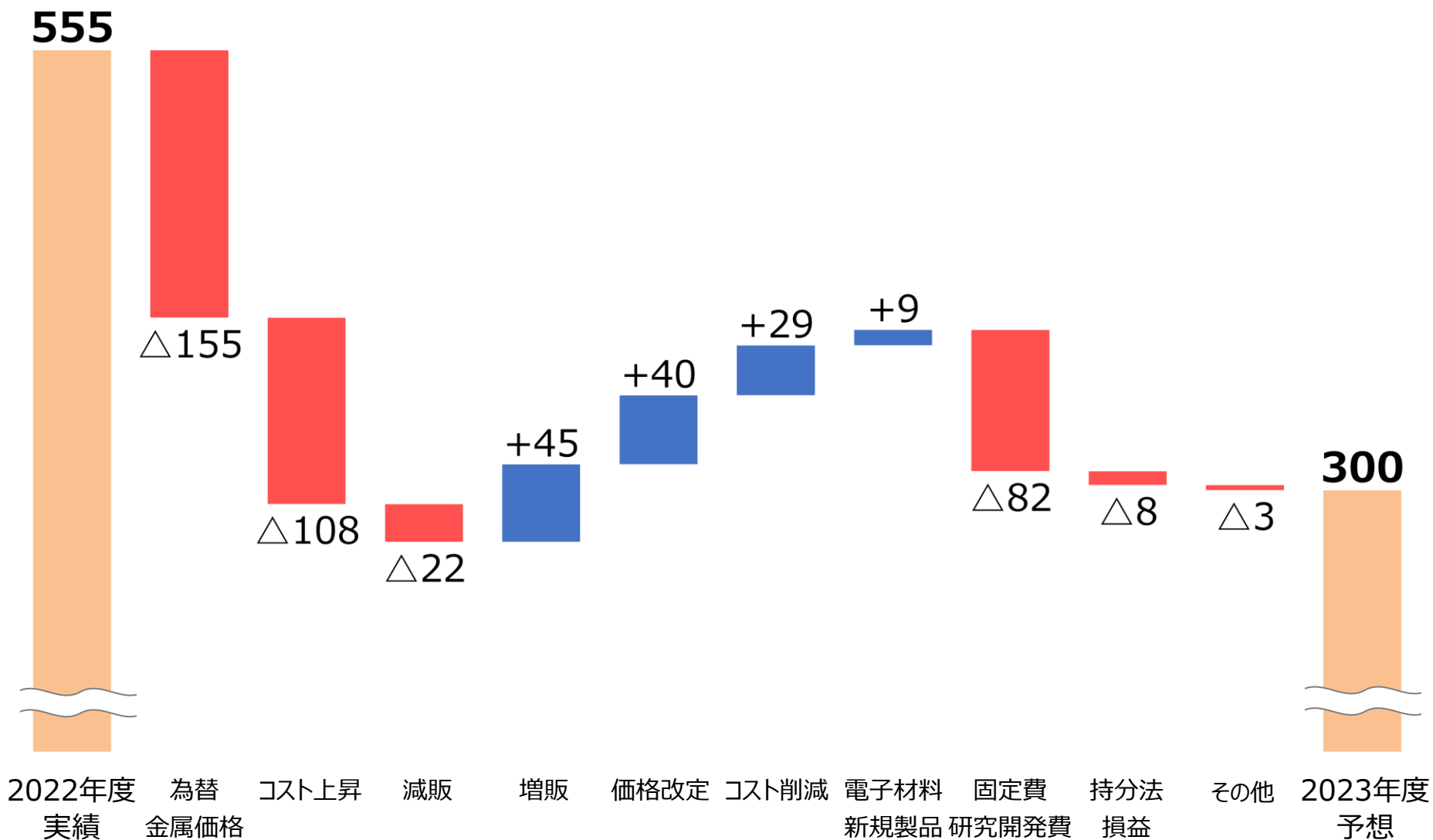
2023年度の業績予想について、相場環境は前年比で、為替は円高となり、金属価格は下落することを想定しています。また、主要製品の需要動向は、自動車関連製品・サービスや情報通信関連製品は、下期からの需要回復を想定しています。新エネルギー関連製品は、引き続き低調な販売となり、環境・リサイクル関連サービスは、堅調な状況が継続すると想定しています。

コスト面では、世界的なエネルギー価格の高騰や資材価格の上昇を受け、電力代、燃料費及び副資材費等のさらなる増加を見込んでいます。

これらにより、2023年度の業績は、前年比で減収減益となる見通しです。

経常利益の増減分析（前年比）

単位：億円



セグメント別損益

単位：億円（億円未満切捨て）

	2022年度 実績			2023年度 予想			増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	1,480	111	119	1,434	99	100	△ 46	△ 12	△ 19
製 錬	4,336	227	331	3,425	45	100	△ 911	△ 182	△ 231
電 子 材 料	1,382	29	45	1,209	8	23	△ 173	△ 21	△ 22
金 属 加 工	1,161	53	55	1,148	44	45	△ 13	△ 9	△ 10
熱 処 理	301	14	18	332	28	30	30	13	11
そ の 他 、 全 社 ・ 消 去	△ 861	9	△ 15	△ 748	6	2	113	△ 3	17
合 計	7,800	446	555	6,800	230	300	△ 1,000	△ 216	△ 255

前提条件・感応度（2023年度）

感応度（営業利益/年）

単位：億円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	132.0 円/\$	±1 円/\$	6.1
銅	8,500 \$/t	±100 \$/t	0.5
亜鉛	2,800 \$/t	±100 \$/t	4.7
インジウム	200 \$/kg	±10 \$/kg	0.6

※為替感応度の内訳は、製錬部門5.0億円、電子材料部門1.1億円です。

為替、金属価格

	2022年度			2023年度			(参考) 2023年 4月平均
	上期平均	下期平均	年度平均	上期前提	下期前提	年度平均	
為替：(円/\$)	134.0	137.0	135.5	132.0	132.0	132.0	133.4
銅：(\$/t)	8,634	8,468	8,551	8,500	8,500	8,500	8,814
亜鉛：(\$/t)	3,597	3,067	3,332	2,800	2,800	2,800	2,773
インジウム：(\$/kg)	235	206	221	200	200	200	204

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

投資の状況

単位：億円（億円未満切捨て）

	2020年度			2021年度			2022年度			2023年度 予想		
	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計	設備投資 投融資	研究開発 投資	合計
環境・リサイクル	181	4	185	102	4	107	80	5	85	115	7	122
製 錬	71	6	77	91	13	104	109	21	131	143	36	179
電 子 材 料	59	42	102	39	41	81	44	46	91	65	52	118
金 属 加 工	37	7	45	47	7	54	54	7	61	65	8	73
熱 処 理	16	2	18	15	2	18	15	2	18	31	3	35
全 社 、 そ の 他	26	0	25	29	0	30	37	1	38	9	3	13
合 計	392	63	455	326	70	396	341	85	427	430	112	543

※製錬の研究開発投資額には、鉱山開発投資を含んでいます。

(参考) 減価償却費

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023年度 予想
環境・リサイクル	58	73	78	82
製 錬	44	46	57	61
電 子 材 料	29	39	35	44
金 属 加 工	32	33	33	42
熱 処 理	26	24	24	25
全 社 、 そ の 他	8	8	9	17
合 計	200	225	239	273

■ 2023年度の主な投資

- 環境・リサイクル：焼却処理設備の改善、埋立処分場の拡張
- 製錬：事業基盤の整備、PGM原料前処理設備の増強
- 電子材料：半導体生産設備の増強
- 金属加工：伸銅品生産設備の増強
- 全社：基幹業務システムの更新

(参考) ヒストリカルデータ

■ 連結財務数値

単位：億円（億円未満切捨て）

		2020年度					2021年度					2022年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	年度
合計	売上高	1,154	1,370	1,511	1,844	5,880	2,079	2,153	1,886	2,198	8,317	2,099	1,918	1,911	1,871	7,800
	営業利益	49	76	111	137	374	196	182	143	115	638	193	107	66	78	446
	経常利益	33	59	123	155	372	282	192	170	115	760	232	136	84	101	555
	親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	1	14	68	133	218	199	126	115	69	510	130	96	45	△ 22	250
環境・リサイクル	売上高	277	287	290	319	1,176	338	322	331	358	1,350	365	350	387	377	1,480
	営業利益	18	18	22	25	84	31	35	37	22	126	31	20	36	22	111
	経常利益	21	12	24	28	86	30	35	42	28	136	34	23	35	25	119
製錬	売上高	604	635	693	887	2,820	1,182	1,136	976	1,261	4,556	1,150	1,095	1,050	1,040	4,336
	営業利益	34	42	51	74	203	128	103	68	61	361	112	65	5	44	227
	経常利益	33	52	73	99	259	147	124	88	68	427	143	92	25	69	331
電子材料	売上高	238	385	412	476	1,512	439	522	401	389	1,753	450	305	326	299	1,382
	営業利益	6	2	7	7	24	10	20	11	9	52	18	9	7	△ 5	29
	経常利益	10	6	9	10	36	13	23	15	13	65	25	13	7	0	45
金属加工	売上高	149	161	220	246	778	264	272	287	294	1,119	295	290	291	283	1,161
	営業利益	△ 4	10	21	16	43	21	15	16	9	63	25	7	11	9	53
	経常利益	△ 3	10	21	17	46	22	16	17	11	68	27	7	10	9	55
熱処理	売上高	39	57	58	76	231	58	65	70	94	289	62	70	77	90	301
	営業利益	△ 9	2	6	8	7	3	5	6	9	26	1	3	4	5	14
	経常利益	△ 10	3	5	10	8	4	6	7	11	30	3	4	4	6	18
その他、 全社・消去	売上高	△ 155	△ 156	△ 164	△ 161	△ 639	△ 203	△ 167	△ 181	△ 200	△ 751	△ 224	△ 193	△ 223	△ 219	△ 861
	営業利益	2	0	2	4	10	1	2	1	1	7	3	0	1	2	9
	経常利益	△ 17	△ 25	△ 10	△ 12	△ 65	64	△ 13	0	△ 17	32	0	△ 5	0	△ 9	△ 15

■ 為替、金属価格

	2020年度					2021年度					2022年度				
	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均	1Q平均	2Q平均	3Q平均	4Q平均	年度平均
為替：(¥/\$)	107.6	106.2	104.5	105.9	106.1	109.5	110.1	113.7	116.2	112.4	129.6	138.4	141.6	132.3	135.5
銅：(\$/t)	5,341	6,521	7,174	8,479	6,879	9,711	9,372	9,698	9,985	9,691	9,526	7,742	8,006	8,930	8,551
亜鉛：(\$/t)	1,959	2,340	2,631	2,748	2,419	2,916	2,991	3,365	3,743	3,254	3,925	3,269	3,004	3,130	3,332
インジウム：(\$/kg)	146	148	174	197	166	198	209	260	247	229	240	230	204	209	221

DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。